

令和元年度 文京区障害者地域自立支援協議会

第2回就労支援専門部会

日時：令和2年1月27日（月）14時から

場所：文京シビックセンター 障害者会館A・B会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 令和元年度障害者地域自立支援協議会全体会について

(2) 現状把握、現状の分析、課題の整理について

(3) 課題の解決に向けた具体的なアイデアの検討について（1人5分程度）

・それぞれの課題、又は複数の課題に共通した解決につながると考えられるアイデアや意見の共有

(4) その他

【資料】

- ・就労支援専門部会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料第1-1号】
- ・専門部会報告書フォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料第1-2号】
- ・令和元年度障害者地域自立支援協議会全体会について・・・・・・・・・・ 【資料第1-3号】
- ・現状の把握、現状の分析、課題の整理について・・・・・・・・・・・・・・ 【資料第2-1号】
- ・アイデア整理表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料第3-1号】
- ・課題の解決に向けた具体的なアイデアの検討について・・・・・・・・・・・・ 【資料第3-2号】
- ・今後の流れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料第4-1号】

文京区障害者地域自立支援協議会〇〇専門部会報告書

部会名:

1 現状把握

--

2 現状分析

--

3 課題の整理

--

4 課題の具体的解決策の検討(実現性、優先度、得られる効果等から検討を行う)

--

5 課題の具体的解決策の提案

--

下命事項：これまでに抽出された課題やニーズなどの中から優先順位及び実現可能性を整理した上で、次期障害者・児計画に盛り込む施策を検討する。

現状1：高齢化に関して

高齢化に伴う支援ニーズの変化に対して十分な支援体制が整っていない。
 ・障害特性だけでなく、加齢に伴う生活のしづらさへの対応。
 ・企業就労を目指す方への適切な支援とは何か。
 ・企業から地域へ、定年退職に対する取り組みの整備。
 ・住み慣れた地域で安心して生活していただける取り組み。
 ・高齢の方が働けるといことを雇用側にとってどう方法。

現状2：支援に関して

支援ニーズの多様化に伴って、より個別化された細やかな支援が必要とされているが、支援体制の整備が追いついていない。
 ・若年層は配慮事項の見極め、中高齢者は身だしなみなど、就労のための自己理解を深めることへの困難さがある。
 ・生活面医療面のニーズが増えており、それらを支える機関との連携をより充実していく必要がある。
 ・様々な分野の関係機関と連携をする必要があるが、お互いに何ができているのか、どんなところが共有しきれていない。
 ・就労を目指す方、障害者支援に関わる方、雇用主などが、障害者の就労支援に取り組む方法や基礎的な知識、支援の流れや連携のポイントなどを共有できる機会やツールがない。

現状3：運営に関して

地域で支え合える環境の構築の推進が必要である。
 ・関係機関とのより丁寧な連携や、きめ細かなサービス提供を行う上で、マンパワー不足が課題となっている。
 ・障害福祉サービスの事業所を運営していく上で、利用者の確保（入口）と次のステップへ進む意欲の確保（出口）に関する課題がある。

現状4：障害者雇用に関して

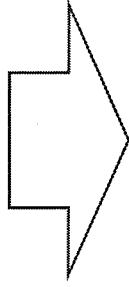
働き方が多様化してくる中で、障害者雇用の裾野も広がりをを見せているため、より幅広い支援ニーズに対応できるよう取り組むことが必要である。
 ・重度障害のある方の働ける機会が十分でない。
 ・企業の障害者雇用に対する理解や取り組みへの啓発活動ができていない。

現状5：工賃向上に関して

就労継続支援B型の利用者が安心して自分らしく生活していくための取り組みが必要である。
 ・工賃向上していくため、品質向上などに取り組みをさらにしていく必要がある。
 ・利用者が受けていた助成金がもたらえなくなるなど、工賃が増えることにより、利用者の利益や就労への意欲、モチベーションにつながりにくい状況がある。

現状分析

現状の分析より、課題4つに整理



課題

就労を指す方、支援者、雇用主、関係機関の分野を横断した障害者の就労支援に関する基本的な情報の共有が不足している

住み慣れた地域で安心して生活していくため、企業から地域へ、そして地域で支えていくノウハウの蓄積が不足している

工賃向上のため品質向上促進と就労継続支援B型利用者の制度利用に関する効果的取り組みが不足している

短時間就労や在宅就労など多様なニーズに応えられぬ働き方の仕組み作りや体制の整備が不足している



施策

Blank box for strategies.

アイデア整理表

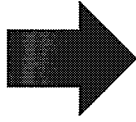
	現 状	課 題 内 容	アクション (解決につながる行動・取組)
課題1	現状1 現状2 現状3 現状4	就労を目指す方、支援者、雇用主、関係機関の分野を横断した障害者の就労支援に関する基本的な情報の共有が不足している	
課題2	現状1	住み慣れた地域で安心して生活しているため、企業から地域へ、そして地域で支えていくノウハウの蓄積が不足している	
課題3	現状5	工賃向上のため品質向上促進と就労継続支援B型利用者の制度利用に関する効果的な取り組みが不足している	
課題4	現状1 現状4	短時間就労や在宅就労など多様なニーズに応えられる働き方の仕組み作りや体制の整備が不足している	

議題(3) 課題の解決に向けた具体的なアイデアの 検討について(1人5分程度)

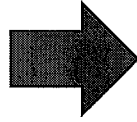
- アイデアや意見は、一つの課題に対する、又は複数の課題に対する内容でも構いません。
- それぞれの立場や所属組織を前提としたアイデアや意見でも構いません。
- 他の委員のアイデアを取り入れたり、他のアイデアを付け加えたりしても構いません。
- 実現可能かどうか問わず、様々な分野、視点からのアイデアや意見で構いません。

今後の流れ

令和元年度第2回就労
支援専門部会 1/27



アイデアや意見の整
理



全体会 2/26

部長・副部長・事務局にて、
頂いたアイデアや意見を整理し、
実現可能性等検討します。

整理した案を提案します。